

# 生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～

(平成28年度事業)



平成29年10月  
庄原市教育委員会  
(生涯学習課)

# はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、21公民館において生涯学習事業を実施してきました。平成19年度からは、公民館を順次自治振興センターへ移行し、現在22の自治振興センターにおいて、指定管理者である自治振興区により生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各自治振興区において実施された生涯学習事業の中から、効果の高かった事業や特徴的な事業を、各自治振興区により選定し作成いただいたものです。

## 目次

### 各施設実践事例書

#### 庄原地域

庄原自治振興区	【子ども将棋教室】	1
高自治振興区	【さつまいも植栽・収穫交流会】	2
本村自治振興区	【元気作りセミナー&健康教室】	3
峰田自治振興区	【里山公園 写生大会】	4
敷信自治振興区	【産直ふれあい市】	5
東自治振興区	【東地区ふれあい祭り】	6
山内自治振興区	【放課後子供教室】	7
北自治振興区	【庄原北地区歩く会】	8

#### 西城地域

西城自治振興区	【起業のためのセミナー】	9
八銚自治振興区	【屋外映写会「星空映画館2016」】	10

#### 東城地域

東城自治振興区	【みのりの体験プロジェクト】	11
小奴可の里自治振興区	【お宝ガイドブック活用事業】	12
八幡自治振興区	【園児と高齢者のふれあい交流会】	13
田森自治振興区	【JR芸備線に乗って内名駅を訪れよう】	14
帝釈自治振興区	【帝釈健康感謝まつり】	15
久代自治振興区	【子ども週末活動(わいわい講座)】	16
新坂自治振興区	【文化財めぐり事業】	17

#### 口和地域

口和自治振興区	【元気づくり事業】	18
---------	-----------	----

#### 高野地域

上高自治振興区	【チャレンジキャンプ】	19
下高自治振興区	【プロの教わる!たかのりんごdeお菓子作り】	20

#### 比和地域

比和自治振興区	【ワードレベルアップ講座】	21
---------	---------------	----


#### 総領地域



総領自治振興区	【子供事業】	22
---------	--------	----

#### 自治振興区連絡先一覧

-----	23
-------	----

事業名		事業テーマ
子ども将棋教室		家庭教育支援・技能習得
<b>事業費</b>		
61,905 円（事業費の内訳：報償費 33,000 円・需用費 22,153 円・通信運搬費 6,752 円）		
<b>事業の概要</b>		
・平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月の 6 か月間、月 2 回 第 2・4 の土曜日に教室を開催		
<b>事業の目的</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将棋を通して子供同士の交流を図る。</li> <li>・将棋の魅力を体感し、技術の向上を図る。</li> </ul>		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
庄原自治振興区内小学生児童		延べ 136 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
平成 28 年 9 月 10 日（土）～平成 29 年 2 月 25 日（土）		はじめて教室 11 回・経験者教室 11 回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめて教室・・・駒の並べ方から、駒の動かし方など初歩から始め実践へ</li> <li>・経験者教室・・・実践学習でレベルアップ</li> </ul> 講師 亀山 紀林 先生		
<b>特徴的な内容</b>		
・最終回は、子共将棋大会を開く。		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供同士でも積極的に教えあっていた。</li> <li>・毎年、最終回の大会は子供たちの真剣な対局が見られ、熱戦が繰り広げられる。</li> </ul>		
<b>写真</b>		
		
		

事業名		事業テーマ
さつまいも植栽・収穫交流会		世代間交流
<b>事業費</b>		
18,000 円（報償費 18,000 円）		
<b>事業の概要</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>高町馬場地区の高齢者と高保育所の園児が、5月と10月にさつまいも苗の植え付け活動と収穫活動を行い、世代間の交流活動を実施。</li> </ul>		
<b>事業の目的</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>高地区の恵まれた農業生産活動の環境を活用した活動により、園児が生まれ育った地域への理解を進めるとともに、高地域の世代の異なる人との世代間交流を図る。</li> </ul>		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
保育所園児及び地域の高齢者グループ		68人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
5月19日～10月12日		2回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所園児と地域の高齢者グループによるサツマイモの苗の植栽活動及び収穫活動</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>高地域での農業生産活動基盤を生かしながら、地域の高齢者グループと高保育所園児との共同作業を行うことにより世代間交流を図るとともに、園児が高地域の特徴的な自然・農産物生産環境への認識を深め、生まれ育った古里を大事にする心の醸成を図った。</li> </ul>		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>園児と高齢者グループによる交流が和気あいあいと行われ、家族間だけでなく地域の人々との交流が深められ地域内の異世代間の交流が図られた。</li> <li>高地区では、小学校においても児童と地域の高齢者グループにより、小学校付近の畑を活用してサツマイモの植え付け・収穫活動が行われていることから、園児・児童と地域住民との世代間交流が継続的に図られている。</li> </ul>		
<b>写真</b>		
		



事業名		事業テーマ
元気づくりセミナー&健康教室		地域住民の健康づくり
<b>事業費</b>		
11,000 円（事業費の内訳：報償費 7,000 円・需用費 4,000 円）		
<b>事業の概要</b>		
・「元気作りセミナー」と一緒に、毎年行っている「健康教室」を行った。		
<b>事業の目的</b>		
・地域の住民が、いつまでも元気で暮らせるように！		
<b>対象者</b>	<b>参加人数</b>	
一応 65 才以上	26 人	
<b>開催期間</b>	<b>実施回数</b>	
3 月 15 日（水）	1 回	
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーリハビリ体操</li> <li>・健塩について</li> <li>・介護予防に役立つレクリエーション</li> <li>・笑ってストレス発散</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 部は、元気づくりセミナーで管理栄養士の原明美さんの講話やシルバーリハビリ体操などを行い、</li> <li>・第 2 部は、本村自治振興区で毎年行っている小原恵美子さんの指導による楽しい体操を行いました。</li> </ul>		
<b>成果・課題等</b>		
・第 2 部は、笑いの絶えない楽しい体操で、手と足そして口の体操にもなり、ストレス発散し、心も体もリフレッシュできたと思う。		
<b>写真</b>		
		
第 1 部 元気づくりセミナー シルバーリハビリ体操		
		
健康教室 小原恵美子さんの楽しい体操		

事業名		事業テーマ
里山公園 写生大会		世代間交流事業
<b>事業費</b>		
3,306 円（事業費の内訳：需用費 3,306 円）		
<b>事業の概要</b>		
・里山塾の一つの事業として実施		
<b>事業の目的</b>		
・世代間交流事業で地元の人と保育所園児、小学校児童たちの親睦を図る		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
地元の人たち、保育所園児、小学校児童		21 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
10 月 22 日（土曜日）		1 回
<b>事業の内容</b>		
・里山公園で写生大会が開催され、地元の人たち、保育所園児、小学校児童が参加し、用紙に色鉛や筆絵の具などで里山公園や里山から見た風景を描く。		
<b>特徴的な内容</b>		
・写生大会で描かれた作品は、地元の方が審査し、各賞を決定し、参加者全員の作品をふるさと祭で展示		
<b>成果・課題等</b>		
・地元の人たちと保育所園児・小学校児童との交流があり、楽しく参加することができた。ふるさと祭で全員の作品を展示し、地域の皆さんに見てもらった。		
<b>写真</b>		
 <p>The photographs show children and adults engaged in drawing activities outdoors at a park. One photo shows a child presenting a drawing to an adult. Another shows children sitting on the ground drawing. A third shows a child drawing at a table. The final photo shows a display board with various drawings, including a large green landscape drawing, with a sign that reads '副区長賞' (Deputy District Head Award).</p>		

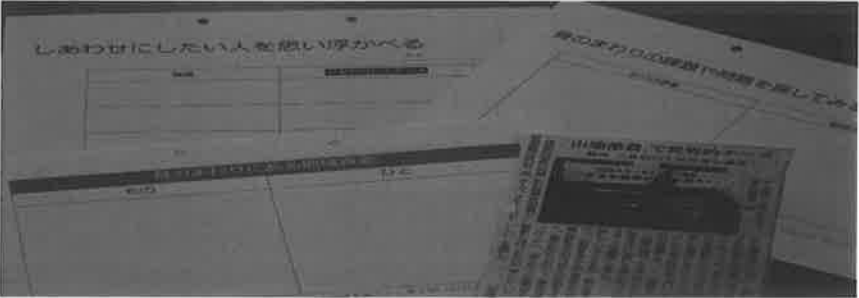
事業名		事業テーマ	
産直ふれあい市		地産池消・地域課題解決	
<b>事業費</b>			
10,000 円（事業費の内訳：需用費 10,000 円）			
<b>事業の概要</b>			
・産直ふれあい市の開催			
<b>事業の目的</b>			
・ふれあい市が生産と消費、需要と供給の場になり、他自治会の人との交流もうまれる。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
区民他不特定多数		60 人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
7 月 24 日（日曜日）		1 回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に夏の余剰野菜等の提供を受け、必要な方に販売</li> <li>・暑い中、来てくださる方にと、冷たい飲み物と手作りお菓子でおもてなしコーナー（交流の場）</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
・振興区女性部が主催し、産業振興部の協力も得て、今年で 9 年目のふれあい市となった。			
<b>成果・課題等</b>			
・広報紙・口コミでますますの人数が集まってくださいます。女性部のメンバーは交替があっても、9 年間大盛況で開店時には行列も出来ます。天候の関係で野菜の出来にむらがあり、集まる品物の量も毎年異なりますが、その年にあった工夫がなされ、敷信の名物の一つになればと考えます。			
<b>写真</b>			
			

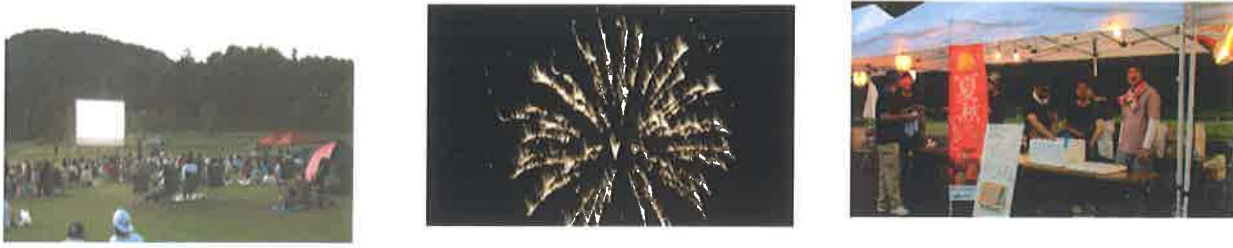
事業名		事業テーマ	
東地区ふれあい祭り		世代間交流事業	
<b>事業費</b>			
126,000 円（事業費の内訳：報償費 126,000 円）			
<b>事業の概要</b>			
・生涯学習教室の発表や展示、自治会からのバザー出店、各戸からの農産物販売などを行う。			
<b>事業の目的</b>			
・高齢者から子供までの地域ぐるみの交流を図るとともに、生涯学習教室の発表の場として活用する。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
東地区住民		約 600 人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
10 月 23 日（日曜日）		1 回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習教室の作品展示（書道・俳句・手芸・絵手紙・生花など）やカラオケ等のステージ発表</li> <li>・各自治会を中心にうどん、焼き鳥、おこわ、コーヒーなどのバザーを行う。</li> <li>・東自治振興区の踊り「エイサー」を自由参加で行う。</li> <li>・ふれあいくじ抽選会・餅まきは大変盛り上がる。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性女性問わず子供から大人まで、すべての人が楽しめるメニューの提供</li> <li>・自治会や諸団体のバザー出店</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢の参加者が一同に会し交流を図ることによって、地域の親睦が図られた。</li> <li>・作品展示等を見た人が各種の活動に参加する、きっかけづくりとしたい。</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			




事業名		事業テーマ
放課後子供教室		自然観察
<b>事業費</b>		
4000 円（事業費の内訳：報償費 4000 円）		
<b>事業の概要</b>		
・子供教室の近くを流れている川にいる生き物などの自然観察		
<b>事業の目的</b>		
・子供たちにとって近くの川に何が生息しているのか、なかなか普段調べる機会が少ない。採取して調べることのできるさとのことをより深く理解することができる。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
山内小学校生徒（放課後子供教室参加者）		12 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
8 月 22 日（月曜日）		1 回
<b>事業の内容</b>		
<p>・山内小学校子供教室参加者 7 名と指導者を含む大人 5 人が近くを流れる「国兼川」の浅瀬で、釣竿を使ったり、採取網で川にいる生物をつかまえ、子供教室に持ち帰り、水槽に入れて観察を行った。</p> <p>どんな生物がいるのか、指導者の方から魚の名前などを聞いて勉強をし、近くの川には現在何が生息しているのか確認をした。</p>		
<b>特徴的な内容</b>		
・地元の川には何が生息しているのか、自らの手で採取して調べるという体験をした。		
<b>成果・課題等</b>		
・水槽に入れた魚などが、環境の変化などにより死ぬものも多く、また死んだものを他の生物が食べるなどすることも起こり、それを一部の子供たちが見て、少しショックを受ける場面があった。しかし反面、自然の摂理を知るということも必要なことなので、子供たちには精神的に無理が来ない程度に説明を行った。		
<b>写真</b>		
網で魚を獲る子供たち		川から持ち帰った魚を水槽に入れる
		

事業名		事業テーマ
庄原北地区歩く会		健康づくり
<b>事業費</b>		
32,200 円（事業費の内訳：報償費 6,000 円・需用費 26,200 円）		
<b>事業の概要</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングを通して健康づくり他、毎月 1 回の例会（冬期間は休会）を開催</li> <li>・毎年「体育の日」に北地区一周ウォーキング大会を開催</li> </ul>		
<b>事業の目的</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングを通して、①健康づくり、②見聞を広める、③仲間の親睦を深める、④人生をより深く、より広く、楽しく、心豊かに過ごす。</li> </ul>		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
北地区民		73 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
毎月 1 回（不定期）		9 回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北地区内の散策をはじめ、国営備北丘陵公園をはじめ市内各地の散策、市外へ出かけての散策を通して、見聞を広めるとともに健康づくりに努めている。</li> <li>・毎年 4 月には、国営備北丘陵公園で総会を開催。</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年「体育の日」に北地区一周ウォーキング大会を開催。</li> <li>・環境衛生の幟を掲げ「きれいな地域づくり」を呼び掛けている。</li> </ul>		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進み、参加者の減少が見られるが、「継続は力なり」と頑張っている。</li> <li>・地区内はもとより、地区外を散策することにより、その地域の取り組み等を見ることができ、参考としている。</li> </ul>		
<b>写真</b>		
		
		

事業名		事業テーマ	
起業のためのセミナー		庄原スモールビジネス講座 「小さな起業が地域を救う！」	
<b>事業費</b>			
93,374 円（事業費の内訳：報償費 87,974 円・需用費 5,400）			
<b>事業の概要</b>			
<p>・地域活性化を目的に、いろいろな事業やイベントを行ってきたが、地域が本当に活性化している状態とは何かを考えたとき、イベントでその日だけ賑わうのではなく、「日常的に経済活動があり、その仕事に対して幸福感がある」ということが活性化している状態ではないかと感じた。大企業の進出により、小さな店舗などが減少している中、移住者や田舎での小さな起業に注目が集まっている。小さな起業は、リスクも抑えられ、自ら決定できること、やりがいなどが幸福感につながっているのではないか。今回は、小さな事業を起業されている方をお招きして、4回連続講座を企画した。また講座だけではなく、ワークショップも併せて行い、自分自身を見つめる機会とした。</p>			
<b>事業の目的</b>			
地域で起業したい人のバックアップ/地域活性化/自ら起業することで、就職先がないから定住しないという思いに変化をもたらし、若者の移住定住につなげる。/仕事や思考の多様性を認め合える社会の実現。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
起業やまちづくりを考えている人や大学生など		123 人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
9 月 13 日（火曜日）～3 月 3 日（金曜日）		4 回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座 1 カフェを起業する～人と人をつなぐカフェ。憧れのカフェ開業のノウハウを知ろう！～ 講師：「ひだまりカフェ」木村淑さん</li> <li>・講座 2 女性の視点をビジネスに活かす～実体験からうまれたオリジナル肌着で起業～ 講師「株式会社マール」櫻木直美さん</li> <li>・講座 3 里山の資源を活かして起業～自然放牧のチーズづくりで伝えたいこと～ 講師「三良坂フロマージュ」松原正典さん</li> <li>・講座 4 農山村で自らナリワイをつくる！～地域おこし協力隊からの起業！～ 講師：「みんなの孫プロジェクト」水柿大地さん</li> <li>・全講座 ファシリテーター クラシノワ舎 徳岡真紀さん</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
・ワークショップも同時開催/一般の起業セミナーではなく、地域活性化や幸福感を考える講座			
<b>成果・課題等</b>			
<p>【課題・今後の方向性】</p> <p>・平日の昼間の開催だったため、参加したいのにできないという声もあった。/他にも話を聞いてみたい起業者がいらっしやるので、いろいろな自治振興区で企画してもらえたらよいのではないかと思います。</p> <p>【参加者の声より】</p> <p>・自分の生活を見つめなおすきっかけにしたい。/自分の喜びの活動がビジネスに繋がり、継続できる。やはり「幸福感」があることは、重要だと思う。/幸せ感をもっと地域の人が理解されれば、もっと暮らしやすい地域になるだろう。/重要に感じたのは、哲学です。/講座で元気をもらった後の、グループでの話で「よし、やろう！」と動き出す力を頂けた気がします。/来てよかったです。気持ちのモヤモヤが消えたかも。</p>			
<b>写真</b>			
			

事業名		事業テーマ
屋外映写会「星空映画館 2016」		青少年育成と青年の交流
<b>事業費</b>		
367,788 円（事業費の内訳：需用費 367,788 円）		
<b>事業の概要</b>		
・標高 720m の道後山クロカンパークに巨大スクリーンを設置して大人も子供も楽しめるファンタジーアニメ「ミニオンズ」を放映。バザー出店、従来なかった花火を初めて打ち上げ。		
<b>事業の目的</b>		
・青年部の地域内外の交流と子供たちのおおらかな気持ちを育む		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
特に限定せず		約 400 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
8 月 11 日（木曜日）		1 回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上約 7m の高さへ巨大スクリーン（縦 4.5m × 幅 6m）を設置</li> <li>・ファンタジーアニメ「ミニオンズ」を放映</li> <li>・バザーを出店（焼きそば、フランクフルト、夏イチゴ、ビール、ジュース等販売）</li> <li>・花火約 200 発打ち上げ（費用は全額寄付金による）</li> <li>・会場へ募金を設置（次年度の花火打ち上げに向けて）</li> <li>・アンケートを配布、回収（来場者情報の把握、目的の達成度確認、不備の改善に向けて）</li> </ul> ※スクリーンの足場組立のみ業者へ依頼、その他は区内青年部が役割分担して開催		
<b>特徴的な内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は毎年継続実施。広報を重視し、庄原市内小学校 19 校、近隣保育所 7 所、町内全世帯、店舗、施設等へポスター・チラシを約 4,000 枚配布、またオフトーク利用により県北の一大事業として定着してきた。</li> <li>・2016 年度は、振興区構成の 4 自治会および地元企業・観光業者の協力を得て初めて花火を企画し実践。バージョンアップに伴い、市内小学校、近隣保育所へのチラシ配布を従来の逡送から訪問配布に切り替えた。</li> <li>・お盆時期の開催としており、帰省されたご家族、市外からのご家族連れ、またカップル・リピーターも多い。</li> <li>・開場 17 時～、上映 19 時～としており、明るい時間帯に観光、日暮れとともに標高 720m で映画・花火の鑑賞、満天の星空を満喫いただく。この地域ならではの良さを知っていただくとともに認知度アップに貢献しています。</li> </ul>		
<b>成果・課題等</b>		
<b>【成果】</b> 花火打ち上げ、広報の配布方法変更により来場者数が大幅増（従来 200～250 名 ⇒ 約 400 名）。アンケート集計から、年齢・住居地を問わず交流の場となっており、和やかな雰囲気づくりに寄与していることが窺える。また、広大な地形に加え、巨大スクリーンより子供に大きな夢を与えていると確信する。2017 年度は、「廃校リノベーション」「広島経済大学農業体験学習」事業と連携していく予定。		
<b>【課題】</b> 天候により開催可否が左右され、費用面でのリスクが高い（雨天時は体育館で上映、バザー規模は縮小）。本来の目的である「青年部の地域内外の交流と子供たちのおおらかな気持ちを育む」の達成度を数値化することが難しく評価が困難である。		
<b>写真</b>		
		



事業名		事業テーマ
みのりの体験プロジェクト		伝統の継承・食生活学習
<b>事業費</b>		
94,857 円（事業費の内訳：報償費 28,000 円・需用費 31,857 円・借上料 35,000 円）		
<b>事業の概要</b>		
・ 1年を通し米作り体験事業の実施		
<b>事業の目的</b>		
・ 昔ながらの米作りの体験を通し伝統を継承するとともに、子供たちに収穫の喜びや食生活について学んでもらう。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
東城自治振興区内小学生以上の住民		延べ 118 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
5月28日（土）～ 2月25日（土）		5回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田植えと田植えごちそう</li> <li>・ 稲刈り（天候不順のため職員のみで実施）</li> <li>・ 収穫祭</li> <li>・ しめ縄づくり</li> <li>・ 米販売</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
・ 昔ながらの方法で米作りをし、文化の継承と共に食生活について学ぶ。また、行事を通し、地域の方とのつながりを深める。		
<b>成果・課題等</b>		
・ 季節の山野草を使った昔ながらの田植えごちそうに、子供たちは、初めて見たり聞いたりする山野草もあり、興味津々だった。今の子供たちにとっての「ごちそう」とは違うが、「おいしい！」と食べる子供もおり、貴重な経験となった。また、地域の方の協力で行事を進め、子供たちと地域の方の交流になった。昔ながらの手作業で、田植えからはで干しまで行うことで、普段、なにげなく食べているお米の大切さや、米作りの大変さを学んだ。今後は、田植えまでの準備や、こなしなどの体験も実施していきたいと思えます。		
<b>写真</b>		
		
		


事業名		事業テーマ
お宝ガイドブック活用事業		小奴可の里の自然、文化を見直そう
<b>事業費</b>		
30,864 円（事業費の内訳：需用費 5,864 円・交通費 25,000 円）		
<b>事業の概要</b>		
・平成 26 年度に作成した「小奴可の里お宝ガイドブック」活用の一環として、地域内を回るツアーの計画と下見を行った。		
<b>事業の目的</b>		
・小奴可の里自治振興区内の自然、文化財、史跡を改めて見直し、後世に語り継ぐ。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
小奴可の里自治振興区住人		延べ 30 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
6 月 23 日（木曜日）・7 月 30 日（土曜日）		2 回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月 23 日 6 自治会から選ばれた「小奴可の里お宝ガイドブック」編集委員 12 名により、ガイドブックに掲載した場所の中から 24 箇所をピックアップし、コースの選定を行った。</li> <li>・7 月 30 日 6 月 23 日の会議で決めたコースを実際に回ってみて、場所の確認、説明の仕方、今後の活用方法、問題点等を話し合った。</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の住民の中から、お宝に詳しい人が説明を行い、よりよい案内を研修した。</li> <li>・地域のお宝を後世に残すことが重要であるため、若い世代を中心に企画を考えた。</li> </ul>		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活では気がつかない地域の自然や文化財などに触れることができたこと、参加者に好評であった。</li> <li>・次年度以降、内容を見直して、地域全体に広げ、より多くの地域内外の人にツアーに参加してもらえるようにする。</li> </ul>		
<b>写真</b>		
 		

事業名		事業テーマ
園児と高齢者のふれあい交流会		元気を出そう八幡
<b>事業費</b>		
119,450 円（事業費の内訳：借上料 64,800 円・需用費 54,650 円）		
<b>事業の概要</b>		
・八幡保育所園児と高齢者のふれあい交流会を行う。		
<b>事業の目的</b>		
・子供（幼児）とお年寄りの交流を通して、豊かな人間関係を育み、ふれあいの喜びを感じてもらう。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
八幡保育所園児・保護者・高齢者		30 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
9 月 16 日（金）		1 回
<b>事業の内容</b>		
・神石高原町のティアガルテンに出かけ、現地でピザ作り体験やゲームを通して世代間交流を行う。		
<b>特徴的な内容</b>		
・高齢者（70 歳以上）が 12 名参加し、地元保育所園児との交流を深めた。		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した高齢者から、園児と触れ合うことで、気持ちが和らいだとの言葉が多く聞かれた。</li> <li>・園児たちも、お年寄りになつき、嬉しそうだった。</li> </ul>		
<b>写真</b>		
 		

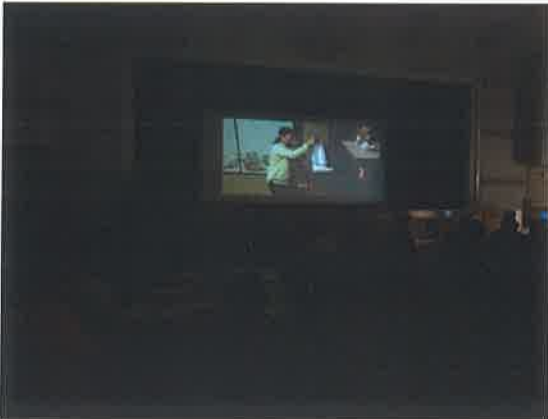

事業名		事業テーマ
JR 芸備線に乗って内名駅を訪れよう		地域学習
<b>事業費</b>		
61,104 円（事業費の内訳：需用費 9,684 円・借上料 51,420 円）		
<b>事業の概要</b>		
・粟田小学校の児童と保護者、地域の人と一緒に JR 芸備線の列車に乗って地元にある内名駅を訪れ、一緒に学習する。		
<b>事業の目的</b>		
・開業 60 周年を迎えた内名駅をめぐって、悲願を達成した先人の苦労や歴史を学び、地域の人と交流することで知的好奇心や社会性を培う。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
粟田小学校児童、保護者、田森地区民		47 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
7 月 20 日（水曜日）		1 回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会行事</li> <li>・粟田小学校発 バス移動 東城駅着</li> <li>・東城駅発～内名駅 列車に乗車</li> <li>・JR 芸備線の建設の歴史や内名駅設置に尽力した先人の功績などのほか現在に至る内名駅に関する説明と内名地区の探検</li> <li>・内名駅発～東城駅 列車に乗車</li> <li>・東城駅発 バス移動 粟田小学校着</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
・JR 芸備線列車の体験乗車を行ない、平成 27 年に JR 芸備線内名駅開業 60 周年を迎えた内名駅の歴史を学び、現在は、秘境の駅として秘かなブームであることの説明を受けるとともに、内名地区の人をはじめ地域の人と交流することができた。		
<b>成果・課題等</b>		
<p>・地元の竹森地区に駅があることを知らない子ども達が多く、初めて列車に乗った子どももおり、「夏休みには家族とまた乗りたい。」と話すなど、好奇心に満ちた様子であった。</p> <p>また、たくさんの地域の人と交流することで、コミュニケーション能力や社会性の醸成に資することができた。</p>		
<b>写真</b>		
		





事業名		事業テーマ	
帝釈健康感謝まつり		健康感謝と生涯学習の発表	
<b>事業費</b>			
453,826 円（事業費の内訳：報償費 70,000 円・需用費 290,986 円・借上げ料 75,600 円・その他 17,240 円）			
<b>事業の概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会にあわせて開催し、日頃の生涯学習の発表の場とする。</li> <li>・健康づくりの一環としての事業</li> </ul>			
<b>事業の目的</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のみんが日頃の健康に感謝し、世代交流し、高齢者をいたわる気持ちを育む。</li> </ul>			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
地域全員		120 人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
11 月 27 日（日曜日）		1 回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・75 歳以上の高齢者に記念品贈呈</li> <li>・世代間交流し、高齢者へのいたわりの気持ちを育む。</li> <li>・生涯学習の発表の場とし、アトラクションや作品展示をする。</li> <li>・健康づくりに演奏者を呼び、歌をみんなで唄う。</li> <li>・参加者みんなでシルバーリハビリ体操をする。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の特産品であるお餅も記念品としている。</li> <li>・音楽を聴いたり、演奏にあわせて懐かしい歌を唄い音楽で認知症予防をしている。</li> <li>・普段、会うことがない人と交流ができる。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は、帝釈郷土祭として開催し、一昨年は敬老会として開催してきた。今年度から、健康感謝まつりとして開催することにより、誰でも参加しやすくした。</li> <li>・それぞれの支部の役員がお互いに声を掛け合って参加を促し、高齢者の送迎を行う。</li> <li>・東城小学校との行事が重なり、小学生の参加がないので、日程の調整が課題である。</li> <li>・毎年、敬老会の記念品に苦慮している。</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			

事業名		事業テーマ
子ども週末活動（わいわい講座）		子供体験学習
<b>事業費</b>		
370,000 円（事業費の内訳：活動費 100,000 円・需用費 20,000 円・使用料及び賃借料 250,000 円）		
<b>事業の概要</b>		
・子供週末活動の一環としての体験学習を計画。		
<b>事業の目的</b>		
・子供たちが日頃体験出来ない事を体験し、その中から多くの事を学び、子どもだからこそ見聞を深める事を目的としている。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
保育所児童・小学生・中学生・保護者		135 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
4 月 1 日～ 翌年 3 月 31 日		7 回
<b>事業の内容</b>		
第 1 回 さつま芋苗植え体験（プランター栽培）…プランターにさつま芋の苗を植えた。（秋に、栽培した芋で収穫祭を開催する。）		
第 2 回 体験学習（紙飛行機作りとアイスクリーム作り）…神石高原町で、紙飛行機をタワーから飛ばし、走りながら作るアイスクリーム作りに挑戦した。		
第 3 回 保護者と交流会…境港市にて、水木茂記念館他を視察研修した。		
第 4 回 さつま芋収穫祭…プランターで栽培したさつま芋を使って料理をし、皆で収穫を喜んだ。		
第 5 回 クリスマス会…子供と保護者が、料理を作り、ゲームを楽しんだ。		
第 6 回 スキー教室…庄原市レベルアップスキー教室に参加した。		
第 7 回 スキー教室…東城スキー教室に参加した。		
<b>成果・課題等</b>		
・子供たちと保護者の交流を図りながら、田舎ならではの体験と、田舎では出来ない体験をしながら、見聞を深め、将来につなげたい。		
・予算縮小の中で、如何に事業を行っていくかが大きな課題である。行事を縮小せざるを得ないと考える。		
<b>写真</b>		
		

事業名		事業テーマ	
文化財めぐり事業		文化財保護意識を高める事業	
<b>事業費</b>			
45,491 円（事業費の内訳：報償費 7,000 円・需用費 38,491 円）			
<b>事業の概要</b>			
・発行した「新坂の歴史と文化」の本を教材とし、研修会を実施し振興区をさらに活発化していく。			
<b>事業の目的</b>			
・歴史と文化が失われがちなので、後世に貴重な文化財を継承するため、郷土の文化財めぐりを開催する。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
新坂自治振興区住民		22 人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
平成 28 年 11 月 8 日（火曜日）		1 回	
<b>事業の内容</b>			
・「新坂の歴史と文化」を教材とし、広島県重要文化財の壽福寺と、広島県史跡の犬塚第一号古墳などを研修し、地元の再発見と郷土意識の高揚をはかることと、地域の誇りを持ちながら、文化財を大切にすること。			
<b>特徴的な内容</b>			
・歴史ある文化財が郷土に多くある為、現実に見ることが出来て、大切さと伝統の必要さを直に感じることが出来ている。			
<b>成果・課題等</b>			
・参加者から「身近にあっても知らない事が知れて大変に良かった」「この研修を継続して欲しい」などの素晴らしい意見が出るようになり、プラスの効果がでている。今後は、郷土の子供や保護者にも、文化財の大切さや保存活動に広げて「さとやま新坂」づくりを目指す。			
<b>写真</b>			
			

事業名		事業テーマ	
元気づくり事業		高齢者の学びと交流	
<b>事業費</b>			
5,160 円（事業費の内訳：報償費 2,160 円・需用費 3,000 円）			
<b>事業の背景</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会を迎え、認知症による高齢者虐待や介護困窮の事例が増加しつつある。</li> <li>・高齢者世帯は、移動手段や地域活動への参加機会が少なく、孤立する傾向にある。</li> </ul>			
<b>事業の目的</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症について学び、介護される方・介護する方、双方に負担のかからない方法を考えて、生活に役立てる。</li> <li>・高齢者同士が交流することで、孤立を防ぎ、地域活動への参画を促す。</li> </ul>			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
主に高齢者		59 人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
3 月 22 日（水）		1 回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発DVD「防ごう高齢者虐待」上映</li> <li>・介護者グループ活動発表 テーマ「認知症 みんなで支えよう」 発表者：認知症の人を支える家族の会・庄原（おれんじの会）</li> <li>・交流カフェ：参加者同士の意見交換</li> <li>・ポスター掲示：口和地域内のサロン・デイホームを紹介するポスターの掲示</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
交流カフェ ・実際に介護されている方のお話を聞いた後、発表者と参加者が意見交換された。 ・テーブルごとの司会進行を地域のリーダーが担当され、意見をとりまとめた。			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果：認知症介護者の苦労や工夫を聞くことで、介護への知識と意識が深まった。 参加者同士が積極的に交流することができた。</li> <li>・課題：交流カフェでお互いの声が聞こえにくかった。</li> <li>・参加者の声： 「高齢者虐待を主体的に考えることができた。」「制度や地域の人に助けってもらうことが大切と感じた。」 「いつも家にこもっている。今日は久しぶりに話ができて楽しかった。」 「自分の地域にサロンがあることを初めて知った。参加してみたい。」</li> </ul>			
<b>写真</b>			
人権啓発 DVD 上映会		交流会	
			

事業名		事業テーマ	
チャレンジキャンプ		「満たされない」	
<b>事業費</b>			
288,399 円（事業費の内訳：報償費 193,685 円・需用費 20,278 円・旅費 74,436 円）			
<b>事業の概要</b>			
・「満たされない」をテーマに自然の中で1泊2日のキャンプを行う。			
<b>事業の目的</b>			
・指導者の森本さんの言われる「日本の子供は満たされ過ぎている。残念なことに、満たされ過ぎていると言う事は、欲が止まらないと言う事です。満たされない環境に子供を置くことで、そこには工夫が生まれ、協力が生まれ、そして、我慢が生まれる。」を実践する。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
小学1年生から大人まで		13人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
8月27日（土）～8月28日（日）		1回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上高自治振興センターに集合し、自分の荷物は自分で背負ってキャンプ地まで徒歩で移動。（6km）</li> <li>・キャンプ地は、谷沿いの林の中。到着後、テントを張る。</li> <li>・後は、何のプログラムもない。</li> <li>・子供が自分の考えで動く。（お腹がすいたら、お腹のすいた人が食事の準備をするなど）</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人は、手も口も出さない。</li> <li>・大人は、見守るだけ。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
キャンプ参加者の声			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「勉強になったのは親の方かもしれません。目先の成功ではなく、失敗させる難しさ…それは、これからの新しい教育観と同じかもしれません。」</li> <li>・「満たされないことも満たすことなんだと、気付いてスッキリしています。」</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			

事業名		事業テーマ
プロに教わる！たかのりんご de お菓子作り		業務用オープンを使った製菓教室
<b>事業費</b>		
18,414 円（事業費の内訳：報償費 10,164 円・需用費 8,250 円）		
<b>事業の概要</b>		
・お菓子作りのプロをお招きしてお菓子作りの楽しさやアドバイスを受ける。		
<b>事業の目的</b>		
・活動促進補助金で購入したオープンを地域の方々に幅広く利用してもらう。		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
お菓子作りに興味のある方		9 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
2 月 16 日（木曜日）		1 回
<b>事業の内容</b>		
・グランプル・アップルタルト（高野町産りんご使用）		
<b>特徴的な内容</b>		
・県北を拠点として活躍されているパティシエを招いての製菓教室		
<b>成果・課題等</b>		
・プロからコツを学べた。		
<b>写真</b>		
		

事業名		事業テーマ
ワードレベルアップ講座		知識・技術を身に付ける
<b>事業費</b>		
54,600 円（事業費の内訳：報償費 49,600 円・需用費 5,000 円）		
<b>事業の概要</b>		
・様々なことで利用することの多い Microsoft の Word の技術を習得する		
<b>事業の目的</b>		
・独学で利用しているワードの技術を習得し、より良い文書を作る		
<b>対象者</b>	<b>参加人数</b>	
一般	延べ 29 人	
<b>開催期間</b>	<b>実施回数</b>	
火曜日 5/31・6/7・6/14・6/24・11/22・11/29・12/6・12/13	8 回	
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期は基本的な技術のおさらいとチラシづくり、後期はカレンダー作り 2 回年賀状づくり 2 回を連続して学び、技術を定着させた</li> <li>・参加者が自身の年賀状を作成する前に技術を習得することができた。</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
・自身が利用しているパソコンを持参し、導入しているワードソフトに合った方法で学ぶことができた		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダー作りを学び自身の自治会活動で自治会カレンダーを作成し配布した方もいた</li> <li>・今後は画像処理なども学習し、パソコン利用の定着を目指す</li> </ul>		
<b>写真</b>		
		

事業名		事業テーマ
子供事業		地域ぐるみの子育ち支援
<b>事業費</b>		
3,589,921 円（事業費の内訳：報償費 2,799,500 円・交通費 636,568 円・需用費 122,893 円など）		
<b>事業の概要</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子供教室</li> <li>・放課後塾（小学生：そろばん教室・中学生：英語：学年別 3 クラス、数学：学年別 3 クラス）</li> <li>・各種交流会</li> </ul>		
<b>事業の目的</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生を対象として、多様な居場所づくりを通じて、地域ぐるみの子育ち支援を進めることで、郷土を愛する健全な子供の育成と保護者の就労環境の充実や子供の貧困対策を目的とする。</li> </ul>		
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>
小・中学生		4,128 人
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>
4 月 1 日（曜日）～3 月 31 日（曜日）		334 回
<b>事業の内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治振興区の地域振興計画の実施計画として教育アクションプランを策定（平成 26 年度）し、計画の策定から PDCA サイクルを管理するために総領地域の教育関係者によって構成する教育プロジェクトチームを編成しています。また、道徳教育研究指定（文科省）を受けて、「地域まるごと宣言」をし、郷土を愛する子供の育成を小・中学校と地域が連携して取り組みを進めました。</li> <li>・放課後子供教室にはサポーター 16 名を配置して、教育内容の充実にも努め、保護者とサポーター、学校との懇談会を開くなど、連携した取り組みを進めています。</li> <li>・放課後塾（小学生：そろばん教室・中学生：英語：学年別 3 クラス、数学：学年別 3 クラス） 各クラスの講師と学校の担当教諭との懇談会や保護者との連絡会など開催しています。</li> <li>・各種交流会：子供教室や塾生と生涯学習の関係団体との交流会を取り入れ、多世代交流に努めています。</li> </ul>		
<b>特徴的な内容</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育コーディネーターを自治振興区に配置して、様々な交流事業、懇談会、学校訪問事業などを通じて、より多くの市民に地域ぐるみでの「子育ち」支援を意識した事業展開をしています。</li> </ul>		
<b>成果・課題等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の多様な居場所づくりができ、保護者の就労環境の整備にもつながり、保護者からは高い評価を受けています。</li> <li>・地域教育コーディネーターを配置し、日頃からの組織的な連携の強化や小・中学校に地域の人材を講師派遣することで、生涯学習と学校教育の連携が進みつつあります。</li> </ul>		
<b>写真</b>		
		



## 連絡先一覧

地域	自治振興区名	拠点施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原自治振興区	庄原自治振興センター	727-0013	庄原市西本町 2-17-15	72-3777	shobara-ziti @peace.ocn.ne.jp
	高自治振興区	高自治振興センター	729-5811	庄原市高町 821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss @gmail.com
	本村自治振興区	本村自治振興センター	727-0623	庄原市本村町 1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi @gmail.com
	峰田自治振興区	峰田自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町 1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi @gmail.com
	敷信自治振興区	敷信自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町 203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi @gmail.com
	東自治振興区	東自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町 11-2	72-2854 (3090)	higashi722854 @gmail.com
	山内自治振興区	山内自治振興センター	729-6131	庄原市山内町 813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi @gmail.com
	北自治振興区	北自治振興センター	727-0203	庄原市川北町 154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss @gmail.com
西城	西城自治振興区	西城自治振興センター	729-5722	庄原市西城町 大佐734	82-2175 (3810)	saijo.jichi @gmail.com
	八銚自治振興区	八銚自治振興センター	729-5601	庄原市西城町 小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi @u-broad.jp
東城	東城自治振興区	東城自治振興センター	729-5121	庄原市東城町 川東1188-2	2-0487 (2466)	Tojyo @aioros.ocn.ne.jp
	小奴可の里自治振興区	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町 内堀1100-1	5-0057 (3310)	Onuka @vesta.ocn.ne.jp
	八幡自治振興区	八幡自治振興センター	729-5456	庄原市東城町 森2668-2	4-0205 (3320)	Yawata @vesta.ocn.ne.jp
	田森自治振興区	田森自治振興センター	729-5127	庄原市東城町 粟田1715-1	2-0661 (3330)	Tamori @vesta.ocn.ne.jp
	帝釈自治振興区	帝釈自治振興センター	729-5244	庄原市東城町 帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	Taishaku @vesta.ocn.ne.jp
	久代自治振興区	久代自治振興センター	729-5122	庄原市東城町 久代2105-1	2-0148 (3350)	Kusiro @vesta.ocn.ne.jp
	新坂自治振興区	新坂自治振興センター	729-5132	庄原市東城町 三坂330	2-2252 (3360)	Shinsaka @vesta.ocn.ne.jp
口和	口和自治振興区	口和自治振興センター	728-0502	庄原市口和町 向泉934-4	87-2213 (3620)	Kuchiwajichi @gmail.com
高野	上高自治振興区	上高自治振興センター	727-0402	庄原市高野町 新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi @gmail.com
	下高自治振興区	下高自治振興センター	727-0423	庄原市高野町 下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8 @gmail.com
比和	比和自治振興区	比和自治振興センター	727-0301	庄原市比和町 比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi @gmail.com
総領	総領自治振興区	総領自治振興センター	729-3703	庄原市総領町 下領家278	88-3067 (3502)	Info @souryou-jichi.net

市市外局番 0824 (東城地域 08477)

### 生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～ (平成28年度事業)

平成29年10月発行



庄原市教育委員会 教育部生涯学習課 社会教育係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogai-syakai@city.shobara.lg.jp